

無人化バックホウの災害対応支援 ～長野県北部地震～

遠隔操縦式

無人で稼働中

平成26年11月22日に発生した長野県北部地震の災害復旧のため、関東技術事務所より遠隔操縦式の無人化バックホウ2台を派遣しました。

被災現場では地震後の降雨による崩落斜面の緩みや余震により、更なる崩落の危険性があるため安全性を考慮し無人での復旧作業を行いました。



崩落土砂の撤去に先立ち、土砂と一緒に崩れた倒木の撤去作業中



出動経緯

- 11月22日 地震発生 (22:08頃長野県北部を震源とするマグニチュード6.7(震度6弱))
 - 11月25日 無人化バックホウ2台出発 (TEC-FORCE2名随行)
 - 11月26日 無人化バックホウ現場到着 → 復旧作業
 - 11月27日 崩落箇所の安全が確認されたため、地元業者による復旧作業
 - ～29日 無人化バックホウは危険作業が発生した際の作業依頼に備え待機
 - 11月30日 無人化バックホウ2台帰還命令
- 運搬・現地操作は「災害時における災害応急対策業務に関する協定」より(株)熊谷組にて実施